

# 豊平會報

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者 / 高田哲也 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161

## C O N T E N T S

- 2 平成 30 年度評議員会開催 / 役員改選
- 3 輝く北のまち紹介リレー 別海町
- 4 研究室のいま 岡崎敦男教授
- 5 OPEN SPACE
- 8 第 11 回ホームカミングデーご案内
- 9 平成 30 年度総会・懇親会 「同窓のタベ」ご案内
- 10 卒業生奮闘記
- 11 支部紹介 北翔会
- 12 支部だより
- 14 平成 29 年度事業報告 / 平成 30 年度事業計画
- 15 平成 29 年度収支決算書 / 監査報告書 / 平成 30 年度予算
- 16 クラブ・サークル活動通信 / 事務局からのお知らせ



# 平成30年度評議員会開催

## 事業計画など原案どおり承認

平成30年度の同窓会評議員会が6月22日(金)午後6時から札幌パークホテルで開催された。

卒業期98名、地域・職域支部49名の評議員計147名(委任状含む)と同窓会役員47名(委任状含む)が出席した。

開会、次第により会議に入った。森本正夫同窓会会長より日本経済の厳しい状況、少子化現



象等、私学を取り巻く環境も厳しく皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げますと挨拶があり、議長に板垣俊夫氏(法

学・昭和46年卒)、副議長に桑山和夫氏(経済・昭和46年卒)、議事録署名人に卒業期から奥山敏康氏(経済・昭和53年卒)、地域・職域支部から齋藤昂一氏(経済・

昭和44年卒・旭川支部長を選出し、議事に入った。

**第1号議案**  
平成29年度事業報告並びに収支決算について、事務局の大橋孝行と佐々木啓明から報告があり、その報告を受けて会計監事を代表し横谷貞夫氏(短大土II・昭和39年卒)から監査報告が行われ、原案どおり承認された。

**第2号議案**  
平成30年度事業計画(案)並びに予算(案)について、事務局の大橋孝行と佐々木啓明より説明が行われ、原案どおり承認された。

**第3号議案**  
役員の選任について、森本会長より2回の幹事会で検討した

資料に基づいて説明が行われ、原案通り承認された。

**第4号議案**  
奨学金について、北海学園大学同窓会奨学金規定並びに北海学園大学同窓会奨学支援実施細則に基づき、第1種同窓会奨学金は、大学の選出した奨学金候補者について同窓会の選考委員会で審議を行い、第2回幹事会(6月4日)で承認された旨報告された。



森本正夫同窓会会長、板垣俊夫議長、桑山和夫副議長

**第5号議案**  
その他 なし

(評議員会資料は、14・15頁に掲載)

# 同窓会役員改選

任期満了に伴う役員改選で次のとおり決まりました。  
任期は、2018年6月28日から2021年6月27日までです。  
◎印は新任、△は異動、他は再任

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 会長 森本 正夫(経I経・2期昭30)  | ◎板垣 俊夫(法I法・5期昭46)  |
| 副会長 名塩良一郎(経I経・2期昭30) | 村口 康博(法I法・10期昭51)  |
| △大澤 定雄(経I営・2期昭45)    | 片岡 廣幸(法I法・14期昭55)  |
| 関 寛(法I法・4期昭45)       | 松沢 秀明(法I法・15期昭56)  |
| 宮本 雅次(工・土I期昭47)      | 成田眞利子(法II法・17期昭58) |
| △城 秀夫(工・建・3期昭49)     | 石田 俊平(法I法・22期昭63)  |
| 幹事 宮崎 文彦(経I経・3期昭31)  | 壽見 光昭(法I法・23期平元)   |
| 桑山 博年(経I経・6期昭34)     | 長谷川裕詞(法I法・27期平5)   |
| 小川 眞治(経I経・8期昭36)     | 佐藤 礼仁(法I法・29期平7)   |
| 桂田 泰宏(経I経・8期昭36)     | 船本 弘美(法II法・39期平17) |
| 片桐 理(経I経・10期昭38)     | 馬場 康広(入I日・4期平12)   |
| 似鳥 昭雄(経I経・13期昭41)    | ◎福岡 大樹(入I日・8期平16)  |
| 杉山 隆俊(経I経・13期昭41)    | 佐藤 進一(工・土I期昭47)    |
| 多田 康郎(経I経・13期昭41)    | 須田 勝一(工・土I期昭49)    |
| ◎飛澤 茂夫(経I経・18期昭46)   | 山本 秀康(工・土I期昭52)    |
| 日和 哲志(経I経・21期昭49)    | 津島 慧(工・建I期昭47)     |
| 米田由美子(経I経・37期平2)     | 白鳥 健志(工・建I期昭48)    |
| 藤原 佳世(経I経・41期平6)     | 濱川 俊久(工・建I期昭54)    |
| 吉野 圭子(経I経・44期平9)     | ◎杉山 友和(工・建I期昭11)   |
| 堀田 昌資(経II営・2期昭45)    | ◎越前谷 博(工・電I期平3)    |
| 瀬戸 軍平(経I営・6期昭49)     | 横谷 貞夫(短大土II・1期昭39) |
| 小林米三郎(経I営・17期昭60)    | 高岡 昌和(経I経・7期昭35)   |
| 澁谷 政憲(経I営・26期平6)     | 桜田 久(経I経・12期昭40)   |
| 左近 秀章(経II営・28期平8)    | 事務局長               |
| 坂口 幸司(経I営・32期平12)    | 高田 哲也(経I経・12期昭40)  |
| 石澤 勝明(法II法・3期昭44)    | (幹事)               |



⑩ 別海町

～広大な土地と海、豊かな自然に恵まれた魅力あふれる町～

人口：14,965人  
面積：1,320.23km<sup>2</sup>  
(平成30年6月末現在)

北海道内の市町村を訪問し、卒業生とのインタビューを通して町を紹介し地域の魅力を発見していく企画、第10回目は別海町です。7月19日、札幌市内のホテルにて貴重な時間をいただき曾根興三町長に町づくりにかける熱い思いをお話いただきました。

～人口の10倍以上の牛と雄大な自然に囲まれた町～



曾根 興三 別海町長  
(昭和50年工学部土木工学科卒業)

別海町の一次産業の年間総生産額は農業が590億円、水産が100億円です。日本に1,700くらいの自治体がある中で五本の指に入るといいます。農業で一番伸びているのが酪農。町の総面積自体は大きくはないのですが、農地面積は6万3500ha。これは日本一です。そして牛の数は11万頭。乳用牛が10万頭、肉用牛が1万頭。670戸の農家の中で酪農畜産が668戸、残りは野菜農家とカサブランカを作っている花卉農家が1戸ずつです。

観光面にも力を入れていて、根室管内、根室市、中標津町、標津町、羅臼町が一体となった観光ルートの開発に取り組んでいます。野付半島にはログハウスの観光センターがあり、そこからトドワラまで行けるようになりました。今はトドワラがなくなった代わりに、その手前の槽林が立ち枯れてしまっていて、そこが今ナラワラとなっています。砂嘴ですから毎年変化していきます。私が町役場に入った頃、半島の付け根は外海と内側とで幅が50mくらいありましたが、今は20mくらいになっています。それだけ削られているということです。

また、冬になると根室から野付へ向かって1週間も2週間も滞在し野鳥を観察するバードウォッチャーが遠くイギリスあたりから来ています。好きな人にとってはとても魅力のある場所になっているわけです。新たな視点で町を見ていくことが大切だと感じています。

～中学時代から土木の仕事で町に貢献しようとする～

私は酪農家の次男坊で、昭和26年生まれ、父の大変な苦勞を見て育ちました。町が広いので町道だけでも1,200km近くありますが、当時はまだ整備されていなくて、春先は泥道で車などまったく通れなく牛乳を入れた輸送缶を背負って集荷場まで運ぶような状態でした。それに水道施設が完備していなかったため、井戸水を汲み上げて牛にあたえる。まずこの道路と水道をしっかりと作らないと、これ以上の成長はできないという思いを中学時代から抱いていました。

それで釧路高専の建築に入学しましたが、大学に行きたいという思いもあり、普通高校をもう一度受け直して中標津高校に行きました。昭和46年に国立大学を受験し落ちましたが、幸いなことに北海学園大学の工学部が3月に2期の試験があったので受験し合格できました。

当時の仕送りは1か月2万5千円、なかなか大変でした。5月からパークホテルの地下にあったボウリング場のクロークでアルバイトをしました。夕方から夜まで、晩ご飯を食べさせてくれて、帰りもタクシークケットを出してくれた。このアルバイトは大学の先輩からの引継ぎだったので、ありがたいなあと思いました。



野付半島氷平線。360度パノラマの氷の景色を楽しめる氷平線ウォークが人気です

勉強も面白かった。測量も好きでしたし、図面を描くのも好きでした。3、4年生の時には図面描きのアルバイトをしました。当時の国鉄千歳線の高架とか、高架下の橋脚の図面とか、地下鉄の延長線の図面を描いていました。卒論はコンクリート工学で書きました。

～最初の仕事が野付半島の道路用地確定の測量～

昭和50年4月、就職をするときも少し悩みました。同期40人いる中で民間に行く人も結構いました。民間の初任給が8万5千円、町の初任給は5万4千円でした。それでも「地元の道路や何かを良くしたい」という思いと、助役の「ぜひ戻って来てくれ、土木の技術屋がいないんだ」という話もあり役場に勤めることにしました。

最初に任された仕事は今でも鮮明に覚えています。野付半島は全体で27kmくらいありますが、付け根が標津町で先端が別海町の離れ小島です。5月に道路の用地確定をするように言われました。役場に入っただけで、どうやったらいいのかわからない。それでも2か月かけてやりました。当時の課長からは普通の人だと5年かかるのを、大学出だから3年で覚えろ、と言われました。私も負けん気の強いほうだったので、それなら1年で覚えてやろうと思い、夜みんなが帰ってからも、また役所へ出てきて昔の設計書を全部見ました。覚えていく楽しさもあったし、工学系は自分で考えて自分が作ったものが形として残っていくというのが一番嬉しく、やはり技術系の人独特の夢というか誇りですね。

～町長への挑戦と町づくりにかける思い～

平成12年には総務部企画調整課長になり、その後、産業振興部長を務め、平成18年11月、55歳の時に退職をしました。20年間町長を務めていた前々町長の佐野力三さんから、平成19年の4月の町長選挙に出馬の打診がありました。そのときは対抗馬が出て負けてしまい、それから9年間、三度の挑戦で平成28年6月の選挙で町長になりました。

選挙公約の一番目に掲げたのは、子育て世代を大事にすることです。別海町は合計特殊出生率が1.86とすごく高い。三代前の町長が、私が役所へ入った頃から、助産師さんを揃えて子どもを産む体制を整えることに取り組んでいっただけでずっと続いています。町立病院は80床の規模ですが、小児科医と産婦人科医が常駐しています。もう一つは町の発展に苦勞してきた高齢者の皆さんが安心して老後を過ごせるための福祉行政です。小規模多機能施設とか、特別養護老人ホームの運営にもしっかり取り組んでいます。

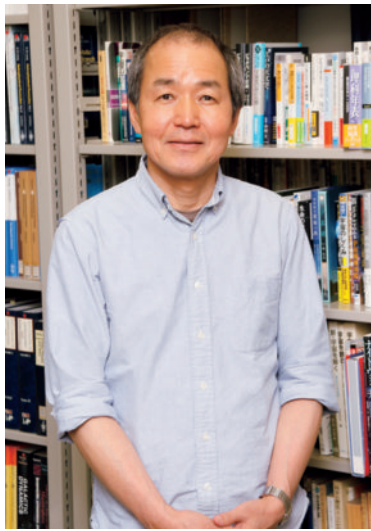
また、20年前から酪農研修牧場を町と農協の出資で設置し運営しています。酪農を志す人を受け入れ、3年間実習してもらいます。給料をこちらで払い、ノウハウを覚えたら新規就労できる場所を紹介するという制度です。今までに70戸が入っています。このような実績は全国でもありませんから、農水省の方に驚かれます。

しかも、この研修牧場で搾った牛乳を地元の人々が飲めるように、町が作った工場で飲料用やアイスクリームにして町の子どもたち、お年寄りに福祉牛乳として配っています。別海牛乳というブランドを作り上げることができました。

安全で安心できる食糧を安定的に安価で提供する、それが日本の国に対する町の責任だと思っています。

～北海学園で培ったフロンティア精神で～

私たちの時代、北海学園大学の学生は経済的に厳しい人が多かった。それでもチャレンジ精神、フロンティア精神というのは持っていました。今は皆おとなしく言われたことはきちんとできるけれど、自らの発想で、自ら取り組むという人が少ないと感じます。ぜひ、北海学園大学の後輩の皆さんには先輩たちが築いてきたチャレンジ精神とフロンティア精神を受け継いでほしいと思います。私は町長選に三度目で当選しました。一度や二度の失敗は人生すべてを決めてしまうことではありません。失敗に挫けず、失敗を恐れず、チャレンジする。その気持ちで自分を見失わないようにやっていけば、未来は拓けると思います。



## 研究室のいま

工学部生命工学科教授

# 岡崎 敦男

OKAZAKI Atsuo

一担当科目

宇宙科学 I・II、宇宙科学セミナー I・II、シミュレーション科学

- 略歴 兵庫県出身。1985年、京都大学大学院理学研究科宇宙物理学専攻終了。理学博士。1986年、本学教養部講師。1998年、教養部の解体に伴い工学部へ移動。2004年、本学教授。
- 所属学会 日本天文学会、日本天文教育普及研究会、アメリカ天文学会、国際天文学連合
- 主な業績 Be/X線連星系と呼ばれるX線で明るく輝く天体グループの活動についての理解を根底から変えた“A natural explanation for periodic X-ray outbursts in Be/X-ray binaries”, *Astronomy & Astrophysics*, 377巻, 161ページ (2001年) とそこで行った予想をシミュレーションで確めた“Viscous effects on the interaction between the coplanar decretion disc and the neutron star in Be/X-ray binaries”, *Monthly Notices of the Royal Astronomical Society*, 337巻, 967ページ (2002年) が代表論文。

僕が天文学の教員として北海学園大学に赴任して、今年で32年になります。北海道に来た当初、「どうして関西の人が北海道に来たんですか?」とよく聞かれました。当時の北海道の人にとって関西地方はとても遠く、そんなところからわざわざ来るのは何か理由があるに違いないと思われたんですね。実際には、研究室の掲示板で見かけた大学の公募に応募したら採用された、それがたまたま北海学園大学だった、というだけのことなので、そのように答えて、聞いた人ががっかりさせていました。北海道に来ることになったのは偶然ですが、それでもずっと関西で暮らしてきた人間にとって、外国のように遠いところで暮らすのはとてもワクワクする体験でした。瓦屋根の家がない町並みも新鮮でしたが、本州だと信州地方の海拔1000m以上のところでしか見かけない白樺が普通に平地に生えていることにも感動しました。北海道で生まれ育った人にとっては何でもないことなのでしょうが、杉花粉が飛ばず(僕は杉花粉症です)、4月になっても雪が降り、夏の夜明けはすごく早く、森にはキツツキがいて、残暑がなく、冬には世界が雪と水で覆われます。別世界です。すっかり北海道の生活が気に入りました。

ただ、僕にとって北海道が別世界だったように、周囲の人にとっては僕が別世界からの人間だったようです。例えば、僕が関西弁で話すと周りの人がびっくりして振り向くことがよくありましたし、学生アンケートに「生身の人間が関西弁を話すのがショックだった」と書いてあったこともあります。言葉だけでなく、服装も異質だったようで、ジーンズで授業する教員は僕の他にほとんどいなかったし、「岡崎さんはいつもリュックをしょってるねえ」と言われたりもしました。今ではそんな時代・状況があったなんて想像もできないですね。自分にとってはあつという間の32年間でしたが、実際には長い時間が経ったんだなと思います。

僕の専門は天文学の中でも恒星物理学と呼ばれる分野です。太陽のように単独で存在している恒星は少なく、半分以上の恒星はペアで存在しています。これらのペアのうちの1つがブラックホールのような重力の強い天体の場合は、もう1つの星の物

質がブラックホールへ飲み込まれ、その時に明るく輝きます。僕はそのような現象の仕組みをコンピュータでシミュレーションして明らかにしようとしています。予想していたことがシミュレーションで示せればうれしいですし、予想外の結果となっても、それは自分の考えを先に進めるために役立つので、また楽しいものです。誰も気づかなかったことを自分が新しく発見するのはとてもスリルがあります。研究の醍醐味の1つです。

研究を続けていると、いろいろな国の研究者とつながりができます。そして、それぞれの出会いが自分を予想外の方向に、そして予想しなかったほど遠くまで連れて行ってくれます。これが研究のもう1つの醍醐味です。僕にとっては特に重要な出会いが3つありました。それらが起こっていなかったら、自分に見える世界はもっと狭くて小さかったらと思うます。

僕は研究では理論面を扱っていますが、子供の頃から星を見るのが好きだったので、北海学園大学に来てからも毎年数回、ゼミの学生と天体観測合宿を行ってきました。空の暗いところで見える星空は美しいです[このページに載せたアンドロメダ銀河の写真はゼミ合宿で銀河の森天文台(陸別町)に行ったときに撮影したものです]。そして、合宿で学生と話すのも楽しいです。僕が担当する授業のほとんどは大教室での講義なので、ゼミ合宿のように学生と近距離で話せる機会はめったにありません。若い人たちが相手にしてくれる間は合宿を続けようと思ってます。

学生と近距離でつきあえる機会には卒業研究の指導もあります。このページのもう1枚の写真は僕が所属する工学部生命工学科の卒業研究発表会の1コマです。発表者はすごく緊張するようですが、1人1人が何をやってきたかがわかるので、聞いていて楽しく、つたくさん質問してしまいます。

以上、これまでやってきたことを簡単に振り返ってみました。なんだか自分が楽しんでばかりだったような気がします。一方通行はいけませんね。僕は、宇宙の授業をとった人たちに、楽しさの体験を少しでもお返しすることができたでしょうか?



ゼミ合宿で撮影したアンドロメダ銀河



工学部生命工学科卒業研究発表会

# OPEN SPACE

オープンスペース

## 平成30年度北海学園大学同窓会奨学生認定証授与式

北海学園大学同窓会第1種奨学金の給付が開始され、7月3日(火)、同窓会役員、学長、学部長が同席して、森本正夫会長より奨学生に認定証が授与されました。



第1種奨学金給付学生

経済学部1部経済学科	2年	岩井澤茉莉衣
経済学部1部地域経済学科	2年	土田 莉玖
経済学部2部経済学科	2年	坂田 十勝
経済学部2部地域経済学科	2年	安田 里沙
経営学部1部経営学科	3年	工藤 優奈
経営学部1部経営情報学科	3年	大谷 桃花
経営学部2部経営学科	4年	山地 泰司
法学部1部法律学科	4年	坂田 雄治
法学部1部政治学科	4年	金子 省吾
法学部2部法律学科	4年	松尾 渉

第1種奨学金給付学生

法学部2部政治学科	4年	西野 真夢
人文学部1部日本文化学科	4年	篠崎 香織
人文学部1部英米文化学科	4年	根本 誠士
人文学部2部日本文化学科	4年	平岡 海優
人文学部2部英米文化学科	4年	澤口 有香
工学部社会環境工学科	3年	上原 玲音
工学部建築学科	2年	丸山 莉奈
工学部電子情報工学科	2年	白木 涼雅
工学部生命工学科	2年	古澤 惇平

## 本学OB、上野正三・北広島市長が北海学園大学で 開催予定のシンポジウムで基調講演

2018年10月7日(日)15:00-17:30、北海学園大学豊平校舎7号館D20教室にてシンポジウムが開催されます。テーマは「人口減少社会の地域づくり」。本学OBの上野正三・北広島市長から、「希望都市・交流都市・成長都市に向けたまちづくり」と題して、日ハムボールパーク等を活かした地域づくりについて基調講演が行われます。さらに、本学OBの原文宏・DEC地域政策研究所長から、「モビリティと観光・地域づくり」について話題が提供されます。本シンポジウムは、主催：日本地域学会、後援：北海学園大学開発研究所であり、本学OBの鈴木聡士・北海学園大学工学部教授がシンポジウムの司会を務めます。

参加申込み(参加費無料、定員300名、受付順)は、<https://goo.gl/forms/yDr1FAFvR0asxxLY2>から(推奨)。または、[jsrsai2018@gmail.com](mailto:jsrsai2018@gmail.com)宛に、「御氏名、御所属、TEL、E-mailアドレス」を連絡。

問合せは、北海学園大学工学部教授・鈴木聡士([jsrsai2018@gmail.com](mailto:jsrsai2018@gmail.com))まで。  
※詳細内容のWEB：<http://www.lst.hokkai-s-u.ac.jp/~soushi-s/jsrsai2018/symposium.html>

## 第17回人文学の挑戦

### 「アイヌ文化と森 人々と森の関わり」

日時/2018年10月7日(日)15:00~16:30  
場所/紀伊國屋書店札幌本店1Fインナーガーデン  
札幌市中央区北5条西5丁目7番地  
TEL:011-231-2131

講師/手塚 薫(北海学園大学人文学部教授)  
出利葉浩司(北海学園大学人文学部客員研究員)  
内田 祐一(文化庁文化財部伝統文化課アイヌ文化振興調査官)

北海学園大学人文学部プロデュース「人文学部の挑戦」は、本学部教員の研究成果を広く社会に還元するイベントです。

参加無料、予約不要です。  
お気軽にご参加ください。



# OPEN SPACE

オープンスペース

## 2018 ミニオープンキャンパス

北海学園大学ミニオープンキャンパスのお知らせです。

函館	函館北洋ビル	9月22日(土) 13:30～16:30 (受付開始 13:30)
旭川	旭川北洋ビル	10月13日(土) 13:30～16:30 (受付開始 13:30)
帯広	とかち館	10月20日(土) 13:30～16:30 (受付開始 13:30)

- 個別相談会 13:30～16:30
- 全体説明会及び保護者・高校教員向け説明会 14:00～14:30
- 体験ミニ授業 14:30～15:00
- OBからのメッセージ 15:10～15:30
- 推薦入試対策講座 15:30～16:00



### お問合せ先 北海学園大学 入試部入試課

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40  
 フリーダイヤル：0120-86-2244  
 TEL：011-841-1161(代) FAX：011-841-1377  
 URL：http://hgu.jp/

**事前申込制・入退場自由**  
 電話またはホームページにて受付(当日参加可)

## 画家斉藤陽向『作品展』開催のお知らせ

斉藤陽向は、北海高校を卒業後、北海学園大学経済学部を卒業した。

斉藤には、生涯二人の師がいた。その一人は北海高校時代「どんぐり会」を主宰する柝内忠男先生。もう一人は、岡田謙三画伯。柝内先生からは風景画の技法を、岡田画伯からは心象と想像の世界を学ぶ。

さてもうひとり…師ではありませんが、北海高校の二期後輩でもあり、斉藤の画の才能を信じ、陰で斉藤を支えた佐藤水産会長、故佐藤壽氏。同社の包装紙を飾る鮭の一生をイメージし描いたそれは、二人の師から学んだ風景画と心象風景が合体した、一期一会の作品ととっても過言ではありません。

斉藤死して10年。この節目の年に「作品展」を開催できますことは、関係各位のご支援のおかげです。

一人でも多くの方のご来場をお待ちしております。

会場／ギャラリー大通美術館  
 札幌市中央区大通西5丁目11大五ビル  
 011-231-1071  
 期間／平成30年11月27日(火)～12月2日(日)

### 斉藤陽向「作品展」実行委員会

代表 杉下 道昭  
 (北海学園大学経済学部 昭和40年卒業)

## 卒業生よりステンドグラス寄贈

『豊平会報』第71号～76号の道内探訪スケッチに作品を提供していただきました本学卒業生の中村保忠氏(昭和41年経済学部卒)より中村氏制作のステンドグラス2点を大学に寄贈いただき、昨年12月1日に安酸学長から感謝状が贈られました。作品は学長室と大学事務部1Fの廊下に展示されています。



ステンドグラス寄贈 中村保忠さん

## 高齢者叙勲

瑞宝双光章受章 平成30年8月1日  
 青山 松四郎氏(昭和30年短期大学部経済科卒業)

### 第64回 対東北学院大学総合定期戦

東北学院大学対北海学園大学総合定期戦が6月22日(金)から24日(日)の3日間、仙台で開催されました。今年の仙台は空梅雨ともいえるような好天、暑さでしたが、それをも上回る熱戦が繰り広げられました。硬式野球、準硬式野球、アメリカンフットボール、ハンドボール、弓道(女子)、羽球(男子)の種目で勝利を収めました。

総合成績では、本学6勝、東北学院大学14勝となりました。次年度第65回は札幌開催です。念願の優勝に向けて期待のエールを送りましょう。



#### ■公式戦

競技種目	北海学園大学	東北学院大学	実施日
バスケットボール	● (70)	— (101)	○ 5/20
弓道(男子)	● (99)	— (111)	○ 6/2
弓道(女子)	○ (30)	— (28)	● 6/2
ゴルフ	● (0)	— (3)	○ 6/12
卓球(男子)	● (2)	— (5)	○ 6/16
ボクシング	● (0)	— (1)	○ 6/16
空手道	( )	— ( )	中止
柔道	● (1)	— (6)	○ 6/16
バレーボール(男子)	● (0)	— (3)	○ 6/17
バレーボール(女子)	● (0)	— (3)	○ 6/17
サッカー	( )	— ( )	中止
ライフル射撃	● (952)	— (1123)	○ 6/23
少林寺拳法	● (9)	— (21)	○ 6/23
羽球(男子)	○ (4)	— (1)	● 6/23
アメリカンフットボール	○ (48)	— (6)	● 6/23
剣道	● (2)	— (6)	○ 6/23
準硬式野球	○ (9)	— (3)	● 6/23
軟式野球	● (4)	— (11)	○ 6/23
ハンドボール	○ (26)	— (23)	● 6/23
硬式野球	○ (5)	— (4)	● 6/24
ラクロス(男子)	● (5)	— (8)	○ 6/24
ラクロス(女子)	● (1)	— (15)	○ 6/24
アイスホッケー	( )	— ( )	中止
ソフトテニス(男)	( )	— ( )	中止
総合	6	0引き分け	14

#### ■オープン戦

卓球(女)	( )	— ( )	中止
ソフトテニス(女)	( )	— ( )	中止
羽球(女子)	● (0)	— (5)	○ 6/25
硬式庭球(女)	● (1)	— (4)	○ 5/26
硬式庭球(男)	○ (6)	— (3)	● 5/26



### 3号棟耐震改築工事が始まる

豊平キャンパス3号棟は1938年に建設された旧札幌商業学校(旧札幌商業高等学校)で、本学の前身北海短期大学と北海学園大学創立時の校舎です。近年は法学部ゼミ室などとして使用されていましたが、今年度耐震改築工事が行われます。3号棟校舎は80年に及ぶその役割を終え、工事に先立つ5月12日には森本正夫理事長・同窓会長、安酸学長ほか北海学園、工事関係者が出席して地鎮祭を行い、工事の安全を祈願しました。

右の写真は1月30日の3号棟最後の冬景(写真校舎中央部が大学玄関でした)、下左の写真は解体の様子、中・右は校舎改築の地鎮祭。森本正夫理事長は挨拶の中で、旧札幌商業高校二階を校舎としていた創立当時の学生時

代にふれ、「お二階さん」と高校生たちに呼ばれていたことを懐かしい思い出として話されました。



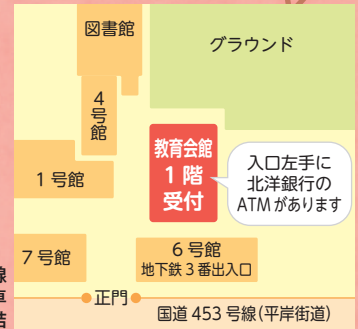
主催 北海学園大学・北海学園大学同窓会

# 第11回 ホームカミングデー

## 2018年10月6日(土)

受付 / 9:30 ~ 13:00  
 開催 / 10:00 ~ 14:30  
 受付 / 北海学園大学豊平キャンパス  
 教育会館1階

※学内には駐車場がございません。公共交通機関をご利用くださいませ。



### 第6回 学園かえるカフェ

## ラジオの時間

### ~周回遅れのトップランナーメディア?!~

無料



時間 / 10:00 ~ 12:00  
 場所 / 7号館2階 D20 番教室

話し手: 松崎 霜樹さん (帯広市民ラジオ・スーパーバイザー兼プロデューサー)  
 山根あゆみさん (HBCラジオ「カーナビラジオ午後一番!」パーソナリティ)  
 聞き手: 樽見 弘紀 (北海学園大学法学部長)

巷間、人々の「ラジオ離れ」が囁かれています……と言いますか、最近ではそのラジオ離れさえも話題にのぼることが少なくなったように思います。でも、本当にラジオは一線の役割を終えてしまったメディアでしょうか。いまラジオは時代を超え、世代を超え、地域をも超えまったく新しい聴かれ方、使われ方を模索しはじめているのだ、その実、虎視眈々と「周回遅れのトップランナー」の地位を狙っている、という大胆な仮説の下、無類のラジオ好きにお集まりいただきラジオの復権に口角泡を飛ばす「ラジオの時間」カフェです。

## 北海マルシェ

時間 / 12:00 ~ 売切れ次第終了  
 場所 / 教育会館1階



学園大OBによる産地直送野菜・果物販売と苫小牧支部・道南支部・小樽支部・空知支部協賛のご当地特産品販売、また、お楽しみ抽選会もあります。



## カイロ施術

時間 / 10:00 ~ 16:00  
 場所 / 生協食堂スペース



大人気のカイロ施術で疲れた身体をほぐしませんか。協力: 日本カイロプラクティックドクター専門学院札幌校

無料

## 学食 de ランチ

時間 / 12:00 ~ 14:30  
 場所 / 生協食堂  
 食事券配付: 教育会館1階受付  
 配付時間: 9:30 ~ 13:00



食事券配付

## 写真部 OB 会写真展

時間 / 11:00 ~ 17:00  
 場所 / 1号館1階入試部前スペース

10月6日(土) ~ 8日(月・祝)  
 3日間の開催です。  
 ぜひお立ち寄りくださいませ!



無料



北海学園大学同窓会「豊平会」平成30年度総会・懇親会

# 同窓の夕べ

草創の学び舎を偲び  
思い出話に花を咲せ  
新たな未来に乾杯を！



日時

平成30年

10月27日(土)

- 受付/17:30~
- 総会/18:00~18:30
- 懇親会/18:30~20:30

会場

札幌パークホテル 3階

「パークホール」(着席制・会場内禁煙)

札幌市中央区南 10 条西 3 丁目 TEL 011-511-3131

会費

5,000 円(税込)

- 司会/森 基誉則・吉野 圭子・青山 千景  
(司会者は全員本学 OB・OG です)



お楽しみイベント

Free Formless  
Jazz Orchestra

全学応援団指導部

賛助出演/現役学生

&  
いとたいLIVE

学園  
グレートビンゴ!

海外ペア旅行!!

道内温泉旅行ペア宿泊  
など  
豪華景品が多数!



札幌生まれ・在住  
本学経済学部卒業

会券の  
お求めに  
ついて

大丸プレイガイド、道新プレイガイド、北海学園生協書店 G'bookS レジカウンター(教育会館 2 階、通常営業時間: 月~金/10:00~18:30、土/10:00~13:30、日祝/閉店。※学事によって営業時間が変更されることがあります。)にて販売いたします。また、卒業期評議員、地域・職域支部評議員、各学部世話人、協力団体、同窓会事務局へお問い合わせください。 ※当日券もあります。

会券郵送ご希望の方は、下記金融機関にて代金をお振込みいただき(振込手数料についてはご負担願います)、ご入金確認後、郵送いたします。

- ・北洋銀行 豊平支店 口座番号/普通0511055 口座名/北海学園大学同窓会
- ・ゆうちょ銀行 二七九店 口座番号/当座0011355 受取人名/北海学園大学同窓会事務局

詳しくは同窓会事務局へお問い合わせください。

●お申込み・お問い合わせ先 北海学園大学同窓会事務局

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目-40 TEL(011)841-1161(代) 担当/三宅(内線1148)・工藤(内線1168) FAX(011)816-1001  
E-mail:doso.hgu@k8.dion.ne.jp 平日/9:00~17:00(昼休み12:00~13:00) 土曜/9:00~12:00

ガフハルOB・OGをフォローアップ

卒業生奮闘記

大森園株式会社 代表取締役

大森 由美子 氏

OMORI Yumiko

経済学部経済学科

44期 1997(平成9)年卒



## ■プロフィール

札幌生まれの札幌育ち。札幌商業高校(現北海学園札幌高校)から北海学園大学へ。卒業後、生命保険会社を経て外資系航空会社に転職、シンガポールベースの客室乗務員に。結婚を機に退職・帰国後、離婚を経て海外ツアーコンダクターとして東京の旅行会社で勤務中、余命宣告された祖母の介護のために帰ル。家業の日本茶専門店を継ぐため2009年に札幌にUターン。2014年より現職。

## ゼミでの経験がすべての原点

受験を控えた中学3年生の時、中の上程度の成績だった私は、「勉強もしないのに進学校へ行ってどうする」、「お嬢様学校よりも個性的な学校」、「男女共学へ転換した先見の明のある学校へ」と父からの助言を受け、札幌商業高校に進みました。当時同校で数学教師兼学年主任をしていた父の友人からの強い勧めもあり、北海学園大学への推薦枠があることを知り、合格していた公立高校を辞退して私学に進学。在学中は簿記の資格取得などに励みました。

北海学園大学入学までは順調だったものの、高校時代に発症した消化器系の難病が悪化して入退院を繰り返し、7年かけて卒業。健康を損なうと気力も奪われることを心底痛感した大学時代でした。医師からの「卒業は無理、社会人としての生活も無理」の言葉に随分悩み苦しみました。そんな私を変えたのが、ゼミでの経験です。

ゼミのテーマは、「アジア NIES 経済発展の光と影」。お世話になったのは加藤光一先生。現在は松山大学にいらっしゃいます。農業経済学ご専門だった加藤先生は、夏休み期間中に現地調査出張があり、私たちゼミ生もそこに貧乏旅行でついて行くというスタイルで、香港(当時はまだイギリス領)、中国本土、韓国、台湾へ2度行く貴重な機会を得ました。初めての海外旅行先のアジア諸国で、文化の違いやバワフルさに圧倒されたことがその後の原点です。もっと世界を見たい、知りたい、そのためには何よりもまずは健康を取り戻さねばと強く思うようになりました。

## キャリアを重ねてから家業を継承

就職活動時の第一希望は航空会社。海外ベースの外資系航空会社の国際線客室乗務員になって外国に住みながら世界中を飛び回りたい、というのがゼミでの経験から生まれた夢でしたが、国内・外資系合わせて航空会社5社を受験したものの全滅。5社も落ちたのだからと諦め、女性が一生働ける環境が整備されている別の業界を目指し、新卒で入社したのが日本生命です。

専門職を目指す四大卒女子で構成された部門で、会社にも仕事にも人にも大変恵まれ満足していましたが、かつて第一志望だったシンガポール航空の募集を知り、心が揺れます。年齢制限最後のチャンスの年でした。

無理を承知で仕事と同時進行で猛勉強して再チャレンジしたところ、採用試験に合格。転職し、赤道直下の国・シンガポールでの新生活がスタートしたのは1997年秋。日本経済がまだアジアNo.1だった頃で、「何故(経済発展途上の)シンガポールへ?(札幌に残っていた方が良いのに)」と言う人がいたことが印象に残っています。

シンガポールへ渡航して僅か2週間後の1997年11月に北海道拓殖銀行が破綻。アジア通貨危機や2000年問題、2001年9月NY同時多発テロ発生等、激動の1997年から2002年までの5年間、シンガポールを拠点に国際線に乗務しました。東京、名古屋、大阪、広島、福岡、ロサンゼルス、台北、バンコクなどを中心に世界を飛び回る充実した日々でした。

結婚を機に退職し、帰国したのは2002年秋。札幌に戻るも離婚

を機に再び札幌を離れ、東京でゼロから全く別の仕事に就きました。

2009年春、札幌在住の祖母が末期がんで余命僅かとの連絡を受け、介護のために一時的に帰札したのが現在に至るきっかけです。ヨーロッパ・アフリカ方面担当の海外ツアーコンダクターをしていたので一旦仕事に出ると10日は戻ることができず、会社に相談。休暇の許可をもらって祖母の介護のために札幌に戻り、自宅で看取りました。

大森園は、祖母が終戦直後に桑園地区の自宅で創業した「お茶屋さん」です。昭和40年代に新興住宅地の西区西野に移転し、北海道の百貨店が全盛期の頃に後継者の父が多店舗展開、平成に入ると従業員数も約30名となり、将来の後継者候補の男子社員もいて万事安泰かのようなでした。

一旦外に出た者として、家業に口を出すつもりはありませんでしたが、よそ者として会社を近くで見ると気がかりなことが多々あり、どうにも放っておけず、思い切って店を手伝うことに。

「店を持つのが夢だったの」という祖母の昔話を聞いていた頃の穏やかな気持ちは、絶対にこの暖簾を守り抜かねばという強い決意に変わりました。

父と衝突しながら店舗や体制の見直しを図り、業界を取り巻く現状と将来を見据えて規模を縮小。たくさんの方々を支えていただき、現在の南円山地区に移ると同時に代表者となったのは2014年のことです。

## お茶の魅力を伝え広めていく

「日本茶インストラクター」資格を取得したのは、実はシンガポールから帰国直後。国際線の機内で日本茶が大人気だったことから興味を持ちました。お茶の学びに終わりはなく、お茶の効果効能だけでなくJAS規格や正しい表示等の最新情報を常にアップデートしながら、日本の伝統文化である茶道も裏千家の先生にご指導いただき、多方面からお客様へ正しい情報をお伝えできるよう心がけております。

講座や講演の依頼をいただくことも増え、幅広い年齢層の方を対象に様々なテーマでお茶の魅力をお伝えする活動も行っています。同業者と共催の小学生対象の日本茶イベント「T-1 グランプリ」は、来年で開催10年目を迎えるまでになりました。日本茶の魅力やおもてなしの心をより多くの方に知っていただけるよう、これからも精力的に活動してまいります。

札幌発の日本茶ブームをもっと大きくして世界中に発信していきたい。それがこれからの目標です。

随分まわり道をしてきたようにも思いますが、高校時代に学んだ簿記の知識は経営者になってから役立つようになったように、全てのことに意味があったと感じています。

ゼミの先生から学んだ「とことん勉強してとことん遊ぶ」の精神は、これからも変わらず大切にしていこうと思っています。



店内の急須コーナー

## 支部紹介

# 北翔会

北海学園大学同窓会「豊平会」の各支部を紹介します。  
1997(平成9)年に支部となった北翔会です。

創立：平成9年

### 〈会長〉

伊藤 慶司 (いとう けいじ)  
工学部土木工学科10期  
明治コンサルタント(株)



伊藤 慶司 会長

### 〈副会長〉

大谷 高志 (おおたに たかし)  
工学部土木工学科12期  
和光技研(株)

### 〈事務局長〉

石村 正一 (いしむら しょういち)  
工学部土木工学科17期  
(株)ドーコン

### 〈事務局次長〉

長谷川直久 (はせがわ なおひさ)  
工学部土木工学科19期  
和光技研(株)

会員数：270名

事務局：株式会社ドーコン 技術管理部  
〒004-8585 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目4-1  
Tel:011-801-1543 Fax:011-801-1544  
E-mail:si899@docon.jp

### 〈顧問〉

久保 宏 (元教授)  
武市 靖 (元教授)  
当麻 庄司 (名誉教授)  
上浦 正樹  
(北海学園大学社会環境工学科・教授)  
桑原 隆司  
(北海学園大学社会環境工学科・教授)  
許士 達広  
(北海学園大学社会環境工学科・教授)

## ▶支部の概要

北海学園大学同窓会北翔会は北海学園大学卒業の技術士及び技術士補の同窓会として平成9年7月に発足しました。平成30年現在、正会員263名(昨年度合格者18名を含む)、顧問(教授、旧職員)7名の計270名の会員を擁し、会員相互の親睦、情報交換、同窓生・在学生への技術士資格取得支援等の活動を行っています。本学卒業生の新規の技術士合格者は増える傾向にあり、会員数は毎年15~20名ずつ増加しております。



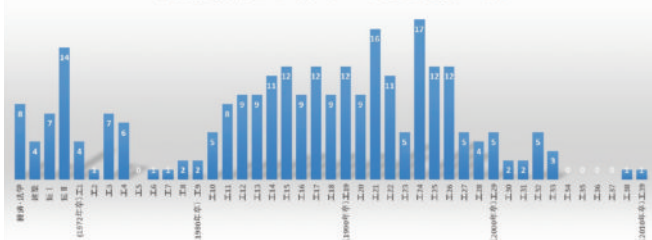
北翔会総会及び新合格者祝賀会

また、本学のように技術士の集まりを支部として認めていただき、活発に活動している事例は、少なくとも道内工学系の他大学では見られないことです。

## ▶技術士とは

技術士(Professional Engineer)は、科学技術分野での最高位の国家資格(文部科学省所管)であり、高度の技術力を備えた技術者の称号となっています。また、技術士は「技術士法(昭和58年)」の規定で、登録した技術部門で独占的に技術業務を行うことができます。

卒業期と技術士の人数(2018年現在 総数263名)



左下図は卒業年次ごとの会員分布を示しています。会員の大多数は社会環境工学科(旧土木工学科)卒業生ですが、経済学部や法学部卒業の8名の方が合格されています。専門学科以外からの合格には私達より遥かに険しい道程を歩まれたものと思ひ、敬意を表する次第です。

## ▶支部のこれから

技術士は一次試験、二次試験を経てやっと合格します。二次試験受験には原則7年の実務期間を求められます(総合技術監理部門は10年)。本学の社会環境工学科はJABEE(日本技術者教育認定機構)の認定・登録を受けているため、卒業と同時に「技術士補」として登録することができ、実務経験4年で二次試験の受験資格を得ることになります。このアドバンテージは大きく、本学卒業生から30歳での合格者を出すまでになりました。北翔会は本学JABEE認定の一助として卒業生の立場から支援を行うことも設立目的としており、JABEE認定を受けるまでは在学生を対象とした授業や啓発のための勉強会を実施していました。また、現在も技術士合格を希望する卒業生のための相談や指導を随時行っています。

本学北翔会の素晴らしい点は、これらの相談や指導を自分が所属する組織内のみに限らず横断的に行うことにあります。これは本学の学風にも由るところ大だと思います。

近年我が国で発生する災害は、毎年大規模化、激甚化する傾向にあります。今回の西日本大雨災害も、科学技術が発達した先進国としては異例の数の被害者を出してしまいました。災害現場を目のあたりにすると、その被害の大きさや悲惨さに思わず立ちすくむことも多いものです。その際に力になるのは、先輩方の経験や知恵、若者たちの持つ行動力や新技術です。私達北翔会は幅広い年代層(30歳台から70歳台)の技術者の集団であり、防災や減災を具現化することにも寄与できる組織であります。今後の北翔会の在り方として会員諸氏の奮闘を期待するものです。

最後になりましたが北海学園大学および卒業生の皆様の活躍をご祈念申し上げます。

(文責・前会長 工藤 康雅)

◆◆◆◆ 支部だより (支部総会写真) ◆◆◆◆

(平成30年4月以降)



山岳部 OB会 (4.21)



写真部 OB会 (4.21)



グリークラブ OB会 (4.21)



帯広信用金庫支部 (5.19)



小樽支部 (5.19)



苫小牧支部 (4.28)



江別市役所支部 (5.23)



蝸牛会 (5.20)



千歳支部 (5.18)



札幌南区支部 (5.26)



北海道学園大学支部 (5.23)



経六期会 (6.6)



静内支部 (6.1)



経五期会 (6.1)



サッカー部 OB 会 (6.9)



関西支部 (6.9)



岩見沢市役所支部 (6.1)



道南支部 (6.29)



応援団 OB 尚志会 (6.28)



北翔会 (6.15)



自衛隊支部 (7.7)



岩田地崎建設支部 (7.6)



創路支部 (7.6)



東園会 (7.31)



札幌市役所支部 (7.25)



札幌東区支部 (7.18)



空知支部 (8.18)

平成30年度支部総会開催予定 (平成30年9月～平成31年3月)

	支部名
9月	江別支部 (9/1)
	経三期会 (9/15)
	ゆうほう会 (9/24)
10月	東京支部首都圏会 (10/12)
	経八期会 (10/27)
	会計学友会
11月	根室支部 (11/10)
	旭川支部
1月	豊陽会 (1/9)
2月	木端会 (2/15)
	北社会 (2/16)
	伊藤組土建支部

◆支部長交替

豊陽会 平成30年4月1日付 (評議員兼務)  
後藤 哲 氏 ⇒ 岡積 義雄 氏(昭和57年法学部卒業)

伊藤組土建支部 平成30年4月1日付  
山下 斉之 氏 ⇒ 新田 幸洋 氏(平成3年工学部卒業)

北翔会 平成30年4月1日付 (評議員兼務)  
工藤 康雅 氏 ⇒ 伊藤 慶司 氏(昭和56年工学部卒業)

写真部 OB 会 平成30年4月21日付  
成田 民治 氏 ⇒ 飛澤 茂夫 氏(昭和46年経済学部卒業)

関西支部 平成30年6月9日付 (評議員兼務)  
澤 定夫 氏 ⇒ 大久保 明男 氏(昭和53年経済学部卒業)

◆支部評議員交替

写真部 OB 会 平成30年8月8日付  
飛澤 茂夫 氏 ⇒ 池田 紳一郎 氏(昭和46年経済学部卒業)

全国支部長会議のお知らせ

平成30年度「全国支部長会議」を10月27日(土)12:00より札幌パークホテル3階「パークホール」で開催いたします。詳細につきましては、各支部長へ開催案内をお送りします。

### 平成30年度 事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

本会の目的を達成するため、次の一般事業活動を展開するとともに、継続中の特別事業の学園創基・大学創立及び本会結成を記念した事業を継続推進する。

#### I. 一般事業

##### 1. 会報の発行

豊平會報第81号・第82号を発行し、会員に送付する。

また、予備会員である在學生にも配布する。

##### 2. 支部などの連携強化

地域支部・職域支部・同期会・クラブOB会などと連携を深め、支部活動や同期会・OB会活動を活性化するとともに、要請がある場合は「個人情報保護法」に基づき利用目的を明示したうえで会員の住所等の提供をおこない、支部支援を図る。

##### 3. 新入会員名簿の作成

平成30年度新入会員(平成31年3月・平成30年9月卒業)名簿の作成、また、配付については、個人情報保護法との関連で見合わせる。

##### 4. 新入会員歓迎会の開催

平成30年度新入会員歓迎祝賀会を、大学院・大学の卒業証書・学位記授与式(3月21日(木・祝))終了後、大学・学生自治会と共催で開催する。

##### 5. ホームカミングデーの開催

同窓会・大学共催による第11回ホームカミングデーを、10月6日(土)開催する。

##### 6. 総会・懇親会の開催

本年度総会担当の世話会を経済学部1部経済学科44期(平成9年卒)・51期(平成16年卒)同経営学科32期(平成12年卒)・37期(平成17年卒)・経済学部2部経済学科38期(平成6年卒)同経営学科26期(平成6年卒)・法学部1部33期(平成11年卒)同2部33期(平成11年卒)・工学部土木工学科33期(平成16年卒)・建築学科33期(平成16年卒)・電子情報工学科22期(平成24年卒)・人文学部1部日本文学21期(平成29年卒)・同英米文化学科21期(平成29年卒)同2部日本文学21期(平成29年卒)及び体育会本部OB会、体育会OB連合会、文化協議会OB会、応援団OB会、クラブOB会、ゼミOB会、地域・職域支部等の協力により、10月27日(土)総会を開催する。

##### 7. 母校行事への協力

予備会員である在學生及びクラブの活動に対して助成をする。

十月祭等の学校行事を通じて、在學生との交流を促進する。

#### II. 特別事業

- 学園創基・大学創立及び本会結成を記念した国際交流基金造成事業として、北海学園国際交流基金への寄付を継続してきたが、北海学園が同基金を取り崩し、学園設置校の国際交流教育活動への効果的な支出ができる国際交流教育振興資金としたため、本会としては引き続き国際交流事業を継続し、今年度100万円を国際交流教育振興資金に寄付する(29回目)。
- 平成2年より継続中の教育支援積立基金(旧(仮)奨学・特別表彰積立基金)は、目標額を1億円に変更して事業を継続してきたが、厳しい経済状況において就学する北海学園大学学生への教育活動に効果的に支出するため、平成25年度に同基金を切り崩し、教育支援特定預金とした。これにより北海学園大学同窓会奨学支援規程及び同実施細則に基づき同基金を実施するため、今年度230万円を加算積み立てるとともに、228万円を奨学金として支出する。
- 総合名簿作成事業積立金として、今年度20万円を加算積み立てる。
- 大学・同窓会のオリジナルグッズ等について、小委員会にて検討の上、作成作業を進める。

### 平成29年度 事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

#### 1. 一般事業

##### 1. 豊平會報の発行

豊平會報 第78号	送付	29. 4.15	経・営・法・人・工学部の住所確定会員41,745名に送付
豊平會報 第79号	印刷・送付	29. 9.15	経・営・法・人・工学部の住所確定会員42,565名に送付
		29. 9.30	新会員(29年9月卒業) 83名に配布
豊平會報 第80号	印刷・配布	30. 3.21	新会員(30年3月卒業) 1,707名に配布

また、予備会員である在學生(1年～4年)にも配布した。

##### 2. 支部等との連携強化と育成(支部等活動状況～同窓会本部に連絡のあった分)

29. 4.22	苫小牧支部総会	29. 6. 6	経六期会総会	29. 9.16	経三期会総会
29. 4.22	写真部OB会総会	29. 6.17	関西支部総会	29.10. 4	椎内支部総会
29. 4.22	グリーンクラブOB会総会	29. 6.23	北翔会総会	29.10. 4	ゆうほう会総会
29. 5.20	小樽支部総会	29. 6.24	応援団OB高志会総会	29.10.13	東京支部首都圏会総会
29. 5.20	帯広信金支部総会	29. 7. 1	道南支部総会	29.10.28	会計学友会総会
29. 5.23	北海学園大学支部総会	29. 7. 1	自衛隊支部総会	29.10.28	経八期会総会
29. 5.24	岩見沢市役所支部総会	29. 7. 8	サッカー部OB会総会	29.11.11	根室支部総会
29. 5.25	千歳支部総会	29. 7.21	北見支部総会	29.11.22	旭川支部総会
29. 5.26	江別市役所支部総会	29. 7.21	岩田地崎建設支部総会	30. 1.10	豊陽会総会
29. 5.27	山岳部OB会総会	29. 7.26	札幌東区支部総会	30. 1.10	北門会総会
29. 5.27	札幌南区支部総会	29. 7.28	札幌市役所支部総会	30. 2. 7	伊藤組土建支部総会
29. 5.28	鶴牛会総会	29. 8. 3	東園会総会	30. 2.16	本編会総会
29. 6. 1	経五期会総会	29. 8.26	空知支部総会	30. 2.17	北社会総会
29. 6. 2	静内支部総会	29. 8.26	江別支部総会		

##### 3. 新会員名簿の作成(豊平會報 平成29年度版)

平成29年度新会員(平成29年9月卒業・平成30年3月卒業)名簿を作成する。なお、配布については、平成17年4月施行の「個人情報保護法」の取り扱い、この関係で、見合わせる事とし、慎重に対応していく事とした。

##### 4. 新会員歓迎パーティの開催

30. 3.21 卒業証書・学位記授与式終了後、新会員(1,707名)を招き大学・学生自治会と共催で、午後2時より札幌パークホテルB2Fパークプラザで、同窓会役員・支部長・評議員(卒業期・地域・職域)が出席し、卒業祝賀会を開催した。

##### 5. ホームカミングデーの開催

29.10. 7 同窓会・大学共催による第10回ホームカミングデーが開催された。第5回「学園かえるカフェ」では、建築家の藤島喬氏と赤坂真一郎氏、タレントでロシア語通訳のアリョーナさんを迎えて「北の住まいと暮らしを楽園にかえるカフェ」と題して寒冷地での生活や家づくりについての講演会を、聞き手に工学部教授米田浩志氏、進行役として法学部教授梶見弘紀氏で開催した。また、OBによる産地直送野菜・果物販売、同窓会苫小牧支部・道南支部・小樽支部協賛によるご当地特産品販売、鮎川会協賛によるくし引きなどの「北海マルシェ」そして、OB異業種ネットワークの協力支援により日本カイロプラクティック大学専門学院札幌校の生徒による「無料カイロ施術」も大変好評だった。写真部OB会による「写真展」10/7～10/9が大学1号館(入試課前廊下)で開催された。また、学生食堂を開放しての昼食の無料提供は、250名以上の方が参加し賑わった。

##### 6. 総会・懇親会の準備・運営

世話人・協力団体会議 (第1回)	29. 8.22	(1)	「同窓の夕べ」開催の件について
		(2)	会券の配付について
総会・懇親会 (第2回)	29. 9.21	(1)	「同窓の夕べ」開催の件について
	29.10.28	(2)	「札幌パークホテル3F パークホール」

##### 7. 母校行事への協力

お祝いの看板(祝卒業)	30. 3.15	3号館 学生正面玄関取付け
(祝入学)	30. 3.26	3号館 学生正面玄関取付け
(祝入学)	30. 3.22	教育会館入口取付け

各団体への経費助成  
十月祭・工学祭・対東北学院大学定期戦  
全国大会出場・定期公演・演奏会等助成  
体育会系13団体・文化会系10団体

##### 8. 会務運営に関する諸会議

幹事会 (第1回)	29. 5.22	(1)	平成28年度事業報告及び決算について
		(2)	監査報告について
		(3)	顧問の推薦について
		(4)	同窓会奨学金について
		(5)	その他
幹事会 (第2回)	29. 6. 5	(1)	平成29年度事業計画(案)について
		(2)	平成29年度予算(案)について
		(3)	奨学金について
		(4)	その他
評議員会 (第1回)	29. 6.23	(1)	平成28年度事業報告並びに取次決算の承認
		(2)	平成29年度事業計画(案)及び予算(案)の承認
		(3)	顧問の推薦について
		(4)	奨学支援事業について
		(5)	支部の設置許可について(報告)
		(6)	その他
幹事会 (第3回)	29. 9. 6	(1)	平成29年度「総会・懇親会」開催の件について
		(2)	「同窓の夕べ」会券配付について
		(3)	「全国支部長会議」について
		(4)	教育支援振興資金(奨学金)について
		(5)	「ホームカミングデー」開催の件について
		(6)	その他
幹事会 (第4回)	30. 1.15	(1)	平成29年度「全国支部長会議」終了報告
		(2)	平成29年度「同窓の夕べ」(総会・懇親会)終了結果報告
		(3)	第10回「ホームカミングデー」終了報告
		(4)	平成29年度「卒業祝賀会」開催の件について
		(5)	その他
常任幹事会 (第1回)	30. 2.23	(1)	第11回「ホームカミングデー」開催について
		(2)	平成30年度「全国支部長会議」開催について
		(3)	平成30年度「全国支部長会議 特別講演会」について
		(4)	平成30年度「同窓の夕べ」開催について
		(5)	役員を選任について
		(6)	その他
担当幹事会 (第1回)	29. 5.11	(1)	平成29年度特別事業の件について
		(2)	第10回「ホームカミングデー」開催の件について
		(3)	平成29年度「全国支部長会議」開催の件について
		(4)	平成29年度「特別講演会」開催の件について
		(5)	平成29年度「同窓の夕べ」開催の件について
		(6)	その他
		(7)	第10回「ホームカミングデー」について
		(8)	平成29年度「全国支部長会議 特別講演会」について
		(9)	平成29年度「全国支部長会議」について
		(10)	平成29年度「同窓の夕べ」について
		(11)	平成29年度「全国支部長会議」について
		(12)	その他
		(13)	第10回「ホームカミングデー」(北海マルシェ)について
		(14)	その他
		(15)	第11回「ホームカミングデー」について
		(16)	平成30年度「全国支部長会議」について
		(17)	平成30年度「全国支部長会議 特別講演会」について
		(18)	平成30年度「同窓の夕べ」について
		(19)	平成29年度「卒業祝賀会」について
		(20)	役員を選任について
		(21)	その他
		(22)	第11回「ホームカミングデー」について
		(23)	「卒業祝賀会」について
		(24)	役員を選任について
		(25)	その他
事務局会議 (第1回)	29. 6.20	(1)	「評議員会」開催について
		(2)	その他
		(3)	体育会連合OB会の会券販売取り扱いについて
		(4)	その他
		(5)	平成29年度「ホームカミングデー」開催について
		(6)	その他
		(7)	平成29年度「全国支部長会議」開催について
		(8)	平成29年度「同窓の夕べ」開催について
		(9)	その他
		(10)	平成29年度「卒業祝賀会」開催について
		(11)	その他
会報部定 (第1回)	29. 6.12	(1)	「豊平會報」第79号の編集の件について
		(2)	その他
		(3)	「豊平會報」第80号発刊について
		(4)	その他
学生部・事務局と協議	30. 1.30	(1)	平成29年度「卒業祝賀会」の件について
		(2)	その他

##### 11. 特別事業

- 学園創基・大学創立及び本会結成を記念した国際交流基金造成事業として、北海学園国際交流基金へ寄付を継続してきたが、北海学園が同基金を取り崩し、学園設置校の国際交流教育活動への効果的な支出ができる国際交流教育振興資金としたため、本会としては引き続き国際交流事業を継続し、今年度100万円を国際交流教育振興資金に寄付した(28回目)。
- 平成2年より継続中の教育支援積立基金(旧(仮)奨学・特別表彰積立基金)は、目標額を1億円に変更して事業を継続してきたが、厳しい経済状況において就学する北海学園大学学生への教育活動に効果的に支出するため、平成25年度に同基金を切り崩し、教育支援特定預金とした。これにより北海学園大学同窓会奨学支援規程及び同実施細則に基づき同基金を実施するため、今年度230万円を加算積み立てるとともに、228万円を奨学金として支出した。
- 総合名簿作成事業積立金として、今年度20万円を加算積み立てる。
- 大学・同窓会のオリジナルグッズ等について、小委員会にて検討の上、作成作業を進めた。

平成29年度 収支決算書

北海学園大学同窓会 平成29年度 収支決算書

自:平成29年4月1日 至:平成30年3月31日(単位:円)

Main financial statement table for the 29th fiscal year, showing income and expenses across various categories like membership fees, interest, and administrative costs.

1. 一般会計 Y18,603,838(北洋銀行・普通預金)
2. 特別会計(予備会費) Y123,000,000(北洋銀行・定期預金29年~29年) 予備会費受取利息・積立 Y7,795(北洋銀行・普通預金)
3. 特別会計(特別事業) Y57,836,482(教育支援特定預金②・総合名簿作成事業積立③(北洋銀行・定期預金))

監査報告書

北海学園大学同窓会 会長 森本 正夫 殿

平成30年5月7日

監事

氏名 横谷 貞夫

監事

氏名 桜田 久

監事

氏名 高岡 昌和

私ども会計監事は、北海学園大学同窓会の平成29年度(平成29年4月1日~平成30年3月31日)収支決算書について監査を行った結果、下記の通り報告致します。

記

- 1. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、収支決算書の記載と合致していることを認めます。
2. 金銭出納簿、その他会計関係諸記録は、その状況を正しく示していることを認めます。
3. 事業計画に基づき業務遂行がなされ、また、幹事会も適切に運営・実施されていることを認めます。

以上

平成30年度 予算

北海学園大学同窓会 平成30年度 予算

自:平成30年4月1日 至:平成31年3月31日(単位:円)

Budget statement table for the 30th fiscal year, detailing projected income and expenses for the coming year.

# クラブ・サークル活動通信

## 卒業生、サークルOB・OGの皆さん、 応援よろしくお祈いします！

### 【山岳部】 副部長 渡辺 啓介 経済学部経済学科 3年

山岳部では、夏山、冬山、岩登りなど自然をフィールドとし、自分たちで自然を切り開いていく活動をしています。特に沢登りでは、川原から頂上まで道なき道を進むことで冒険者のような感じを味わうことができます。現在ではGPSの普及により目的地に行かずともその景色を見られてしまうものです。そこにあって道具と智慧を駆使し、自分の足で行くそこに人間が持っている開拓者精神が発揮されるのです。こうした登山の魅力は、筆舌に尽くしがたいものです。



一方で、山では常に、遭難の危険がつきまといまいます。部の山行では必ず計画書を立てて、それを毎週の部会などで入念にチェックします。

私たちの目標とは、未知なる世界に挑戦し、計画した登山を安全に遂行することなのです。山岳部は普通の部活とは違い、山に入ればいつも危険にさらされており危機管理能力が問われます。もしもの緊急事態でも落ち着いて対処できる余裕が必要なのです。

ただ、頑張った分得られるものは、何よりも大きいです。自然を肌で感じ学べる、これ以上ない体験です。どんな苦境に立たされても、それを乗り越えられる精神力が身に付きます。ロープを介して自分の命を託せる友は、他のどこを探しても見つからないでしょう。

### 【Be-Harmony】 会長 干潟 孝輔 経営学部経営情報学科 3年



こんにちは！ イベントサークル Be-Harmony (ビーハーモニー) です！ Harmony とついでに音楽系サークルと間違えられることが多々あります。このサークルは2011年度に創立し、7年目の現在は北海学園大学の公認サークルとして約50名で活動しております。

意外にも長い歴史があり、そして所属人数が多いなど感じていただけましたか？ 私たちの活動内容は、平岸を中心にイベントの企画・運営そして地域のボランティアなどを行い様々な角度から地域を盛り上げることです。またリンゴマンという平岸公認のヒーローとともに地域を盛り上げることもあります。平岸で行われるイベントに足を運んでいただくと必ずお目にかかることができると思いますよ！

就職活動にとっても有利になるといわれるボランティア活動。しかし、大学生活は就職のために送るのではなく、自分の将来のために送ると我々は考えます。本当の意味で充実した大学生活を送るためにこれからも Be-Harmony で学びを深めていきます。まだまだ未熟な団体ですが、これからどうぞよろしくお祈い致します。

## 事務局からのお知らせ

### ◆退任役員

#### 幹事

高橋 奈帆 氏 平成30年6月27日付  
長い間、ご苦労様でした。

### ◆卒業期評議員交替

法学部1部昭和57年卒業 平成30年4月1日付  
岡積 義雄 氏 ⇒ 小笠原 慎二 氏

### ◆訃報

#### 大須賀 良明 氏

昭和32年経済学部卒業  
十勝支部長 (昭和42年～平成30年)  
平成30年6月27日逝去 (85歳)



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 住所変更の際はご連絡をお願いします

お手数でも同封の「住所等変更届はがき」(無料) または、ホームページ (<https://www.hgu-dousoukai.org/address/>)、FAX (011-816-1001) にて、同窓会事務局までお知らせくださいようお願いいたします。個人情報同窓会活動以外には使用いたしません。

**多岐アート**  
Vol.1

目覚め～2018 brushup  
米田 由美子 作  
プロフィール: 経済学部経済学科 平成2年卒業

### 北海学園大学同窓会

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40  
TEL: 011-841-1161(内線1148・1168) FAX: 011-816-1001  
E-Mail: [doso.hgu@k8.dion.ne.jp](mailto:doso.hgu@k8.dion.ne.jp)  
ホームページ: <http://www.hgu-dousoukai.org/>